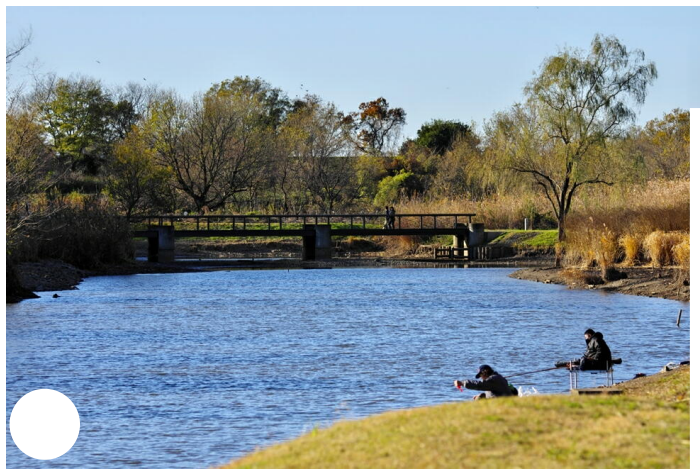


御所沼に架かる橋



御所沼の水抜きが始まって1ヶ月を過ぎ、沼の水位は、最低ラインまで下がりました。そのため普段見ることの出来ない沼の一面を見ることが出来ます。沼に架かる橋もその一つ、足元が見えることで橋の構造を知ることができます。公方様の森から南に架かる橋は、天神橋と言います。昔、天神様の祠が橋のたもとにあったことから名付けられました。構造はコンクリートで支えられた桁橋、ケーブルで吊られた斜張橋、両方に乗りかか

った中央部分と、三つの構造を使って作られている珍しい橋です。



は、相ノ谷橋と言いますが、御所沼の古い地名をしのいで名付けられました。橋の構造はコンクリートで支える桁橋です。は、獺橋と言います。昔、御所沼の南に獺沼と言う沼があり、その名前をしのいで名付けられました。構造は、大きな土管を横に3つ並べ、隙間に碎石や土砂を入れて橋にしています。

公園を彩る冬の花



12月を過ぎた公園で見かける花といえば、サザンカとツバキです。青々とした葉に鮮やかな赤やピンク、白の花が冴えています。どちらもツバキ科の常緑広葉樹で、一般的には、ツバキが冬から春にかけて咲くのに対し、サザンカは、秋から冬に咲きます。また、花の終わりは、ツバキが首から散るのに対しサザンカは、葉から散ります。咲いている場所は、茶畑の周囲や富士見の丘の南側、公園南側の並木道、菖蒲畑の周囲など、至る所で見かけることが出来ます。